

2023年12月期 第2四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters "AGC" in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the "A" and the "G".

AGC株式会社

2023年8月2日

Your Dreams, Our Challenge



2023年12月期 第2四半期業績	P.03
1. 業績のポイントと主要項目	P.04
2. セグメント別・地域別の状況	P.11
2023年通期業績の見通し	P.21
企業価値向上に向けた取り組み	P.29
付属資料	P.39

2023年12月期第2四半期（累計）

前年同期比

売上高	9,853 億円	+70億円
営業利益	643 億円	▲510億円
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	406 億円	▲306億円

- 売上高は塩ビの販売価格下落の影響を受けたものの、自動車用ガラスおよび建築用ガラスなどの販売価格の上昇や為替の影響から前年比増収
- 営業利益は製造原価の悪化および原燃材料高などの影響から前年比減益

2023年12月期通期見通し（修正）

従来予想比

前期比

売上高	20,500 億円	▲1,000億円	+141億円
営業利益	1,500 億円	▲400億円	▲339億円

- クロールアルカリ製品の市況回復の遅れ、米国バイオ医薬品CDMOの新規ライン立ち上げ遅延の影響から下方修正

1. 業績のポイントと主要項目



2023年12月期 第2四半期業績

* うち、為替差影響は+519億円、連結範囲変更の影響は+7億円

(億円)

		FY2022 1-2Q累計	FY2023 1-2Q累計	増減	主な変動要因 (+)増加要因 (-)減少要因
売上高		9,783	9,853	+ 70*	(+) 自動車用ガラス、建築用ガラスの販売価格上昇 (+) 自動車用ガラスの出荷増加 (+) 円安 (-) 塩ビの販売価格下落 (-) バイオ医薬品CDMOの受託売上、フッ素関連製品の出荷が減少
営業利益		1,153	643	▲ 510	上記に加え、 (-) 製造原価の悪化 (-) 原燃材料価格の上昇
税引前利益		1,176	660	▲ 516	上記に加え、 (+) 為替差益 (+) 関係会社株式売却益 (-) ディスプレイ事業（関西工場高砂事業所）における事業構造改善費用
親会社の所有者に帰属する 当期純利益		712	406	▲ 306	
為替レート (期中平均)	1USD	JPY 122.89	JPY 134.85		
	1EUR	JPY 134.25	JPY 145.79		
原油 (Dubai,期中平均)	USD/BBL	101.81	79.05		

セグメント別業績 前年同期比較

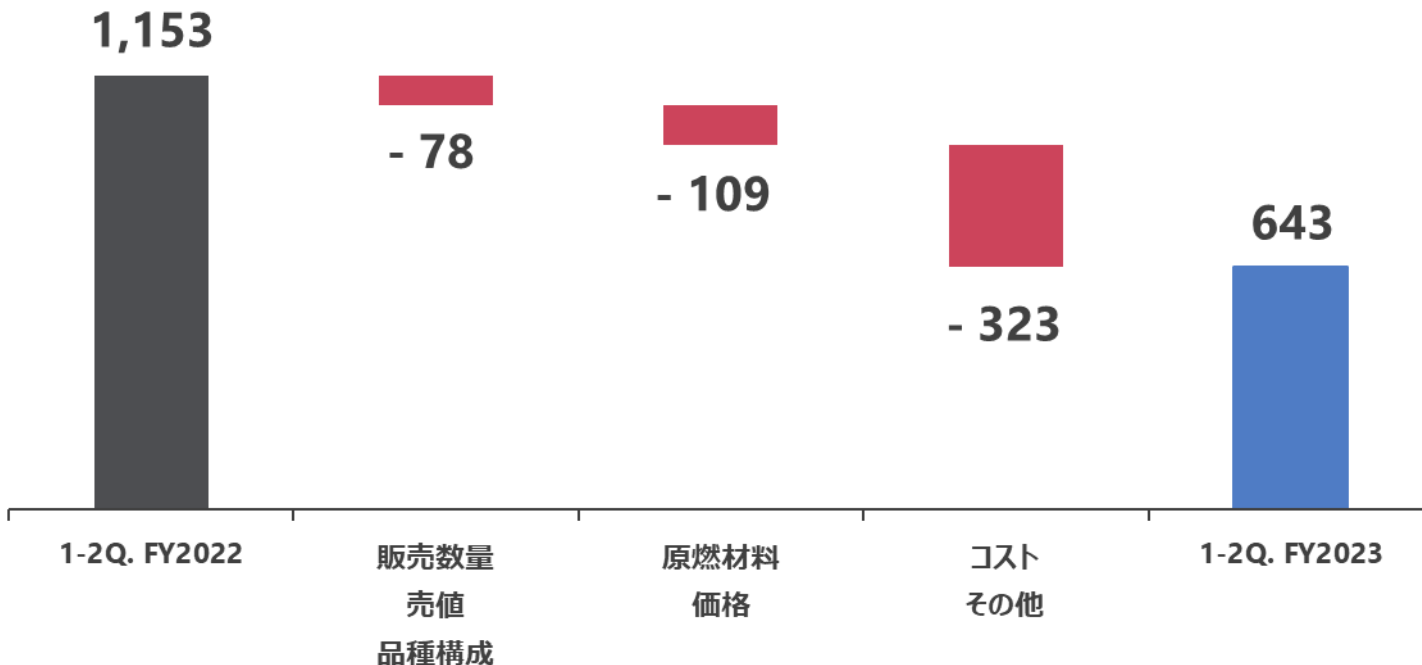
(億円)

	FY2022 1-2Q累計 (a)		FY2023 1-2Q累計 (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	2,257	205	2,398	186	+ 141	▲ 19
 オートモーティブ	1,892	▲ 91	2,407	102	+ 515	+ 193
 電子	1,481	92	1,419	29	▲ 62	▲ 63
 化学品	3,336	824	2,828	309	▲ 509	▲ 514
 ライフサイエンス	710	102	680	6	▲ 30	▲ 97
 セラミックス・その他	435	25	394	14	▲ 41	▲ 11
 消去	▲ 328	▲ 3	▲ 273	▲ 3	+ 55	+ 0
連結合計	9,783	1,153	9,853	643	+ 70	▲ 510

営業利益増減要因分析(1-2Q. FY2023 vs. 1-2Q. FY2022)

前年同期比 **510億円減益**

(億円)



連結財政状態計算書

	2022/12	2023/6	増減 (億円)	
現金及び現金同等物	2,097	1,688	▲ 409	
棚卸資産	4,365	4,741	+ 376	
有形固定資産・無形資産及びのれん	15,148	16,151	+ 1,003	● 為替差影響 +948億円
その他	6,530	6,998	+ 469	
資産合計	28,140	29,579	+ 1,438	● 為替差影響 +1,588億円
有利子負債	6,502	7,083	+ 580	
その他	5,782	5,741	▲ 41	
負債の部	12,284	12,824	+ 539	
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,903	14,718	+ 816	
非支配持分	1,953	2,037	+ 83	
資本の部	15,856	16,755	+ 899	● 為替差影響 +893億円
負債及び資本合計	28,140	29,579	+ 1,438	
D/E比率	0.41	0.42		

連結キャッシュフロー計算書

1-2Q累計	FY2022	FY2023	(億円)
税引前利益	1,176	660	
減価償却費及び償却費	902	859	
運転資金増減	▲ 527	▲ 403	
その他	▲ 321	▲ 221	
営業活動によるCF	1,230	894	
投資活動によるCF	▲ 667	▲ 881	
フリーキャッシュフロー	562	13	
有利子負債増減	182	222	
支払配当	▲ 289	▲ 233	
その他	▲ 130	▲ 525	
財務活動によるCF	▲ 237	▲ 536	
現金等に係る換算差額	272	115	
現金等の増減額	597	▲ 409	

設備投資・減価償却費等

1-2Q累計	FY2022	FY2023	(億円)
設備投資額	1,051	1,052	
建築ガラス	75	100	
オートモーティブ	114	116	
電子	416	293	
化学品	314	396	
ライフサイエンス	128	139	
セラミックス・その他	6	10	
消去	▲ 2	▲ 1	
減価償却費	902	859	
建築ガラス	124	119	
オートモーティブ	154	156	
電子	337	258	
化学品	223	248	
ライフサイエンス	54	68	
セラミックス・その他	10	10	
消去	▲ 1	▲ 1	
研究開発費	249	270	

主な設備投資案件

- ディスプレイ中国G11投資（電子）
- ディスプレイ製造窯修繕（電子）
- 電子部材関連製造設備増強（電子）
- 東南アジアクロールアルカリ能力増強（化学品）
- フッ素関連製品能力増強（化学品）
- バイオ医薬品・合成医薬品CDMO能力増強（ライフサイエンス）
など

2. セグメント別・地域別の状況



	(億円)		
1-2Q累計	FY2022	FY2023	増減
売上高	2,257	2,398	+ 141*
アジア	681	759	+ 78
欧米	1,572	1,633	+ 61
(セグメント間)	4	6	+ 2
営業利益	205	186	▲ 19

* うち、為替差影響は+152億円、連結範囲変更の影響は+7億円



アジア

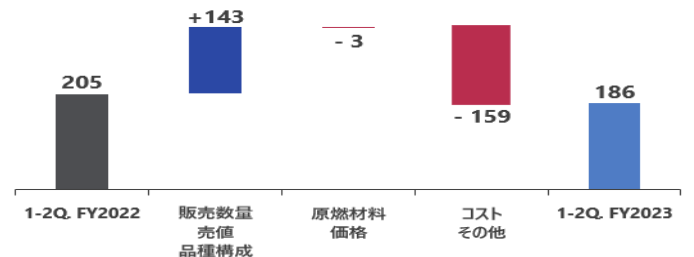
- 日本を除く地域で出荷が減少したものの、販売価格の上昇により増収



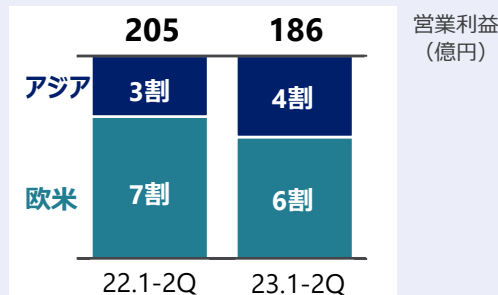
欧米

- 景気減速の影響を受けた欧州で出荷が減少したものの、販売価格の上昇や為替の影響により増収
- 製造原価が悪化

営業利益 増減要因分析



営業利益 構成比 共通費配賦前

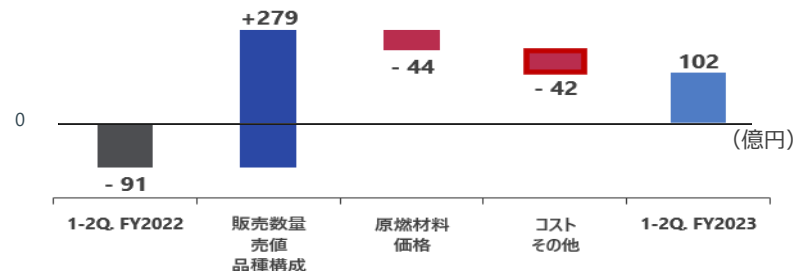


オートモーティブ セグメント

1-2Q累計	FY2022	FY2023	(億円) 増減
売上高	1,892	2,407	+ 515*
オートモーティブ (セグメント間)	1,891	2,405	+ 514
	1	2	+ 1
営業利益	▲ 91	102	+ 193

* うち、為替差影響は+133億円、連結範囲変更の影響はなし

営業利益 増減要因分析



自動車用ガラス

- 自動車生産台数の増加により、当社グループ出荷も増加
- 販売価格の上昇や品種構成の改善、為替の影響もあり増収・増益

	(億円)		
1-2Q累計	FY2022	FY2023	増減
売上高	1,481	1,419	▲ 62*
ディスプレイ	870	783	▲ 87
電子部材	600	631	+ 30
(セグメント間)	11	5	▲ 6
営業利益	92	29	▲ 63

* うち、為替差影響は+37億円、連結範囲変更の影響はなし

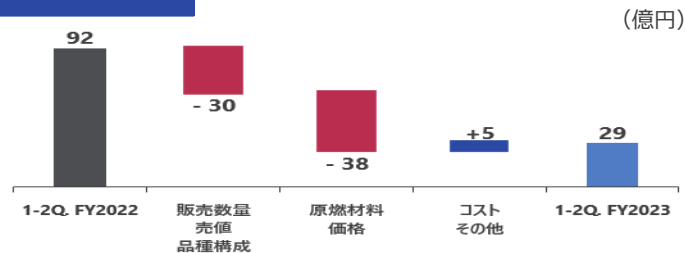
ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板の出荷が減少
- 原燃材料価格が上昇

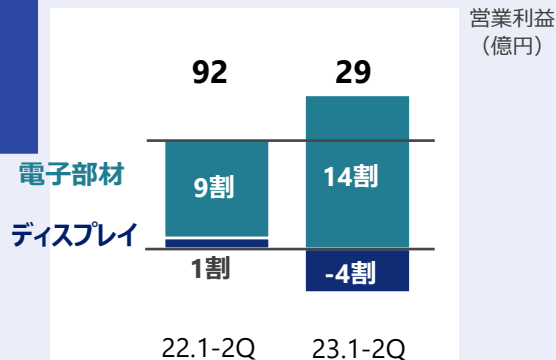
電子部材

- EUV露光用フォトマスクブランクス等の出荷が堅調に推移したことに加え、為替の影響などにより増収

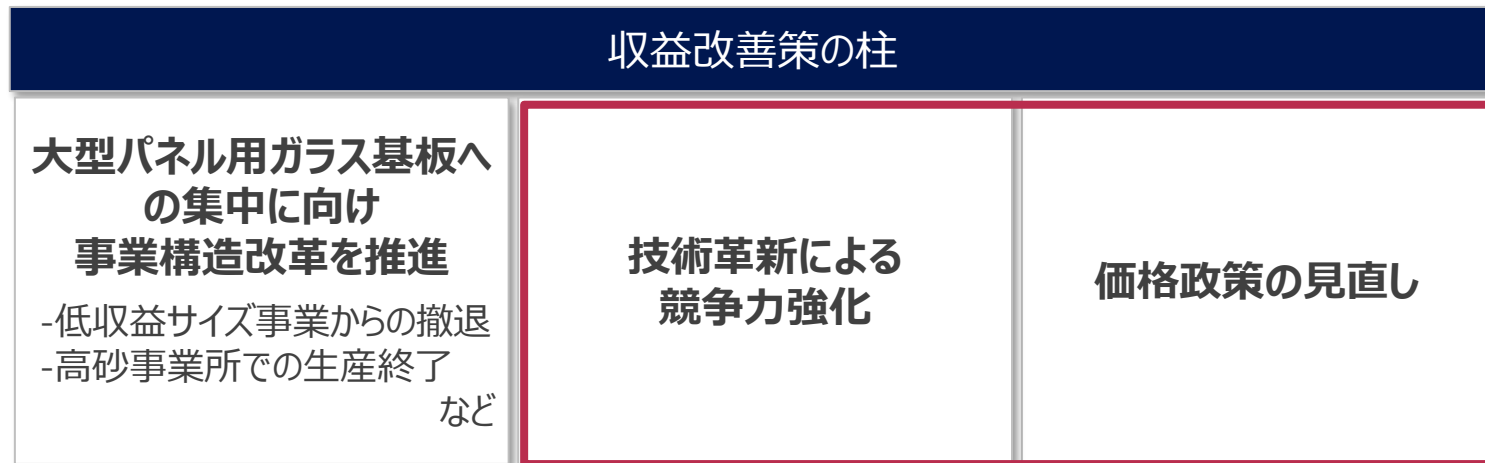
営業利益 増減要因分析



営業利益 構成比 共通費配賦前



- 構造改善施策に加え、技術革新による競争力強化、価格政策も実施し、事業再生を目指す



早期にROCE 10%以上を目指す

1-2Q累計	FY2022	FY2023	(億円) 増減
売上高	3,336	2,828	▲ 509*
エッセンシャルケミカルズ	2,515	2,008	▲ 507
パフォーマンスケミカルズ	796	798	+ 3
(セグメント間)	26	22	▲ 4
営業利益	824	309	▲ 514

* うち、為替差影響は+153億円、連結範囲変更のなし



エッセンシャルケミカルズ

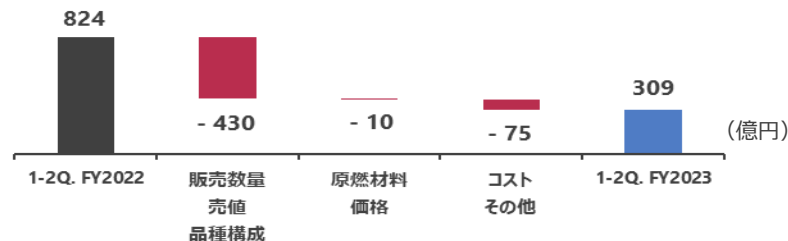
- 塩化ビニル樹脂等の販売価格が下落



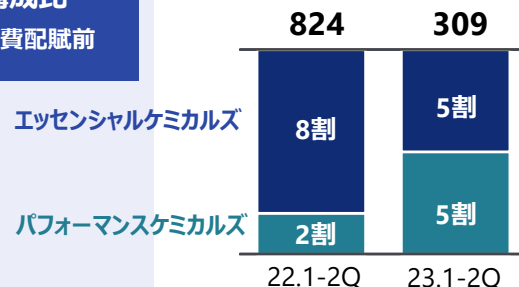
パフォーマンスケミカルズ

- フッ素関連製品の出荷は減少したものの、販売価格の上昇や為替の影響により前年並み

営業利益 増減要因分析



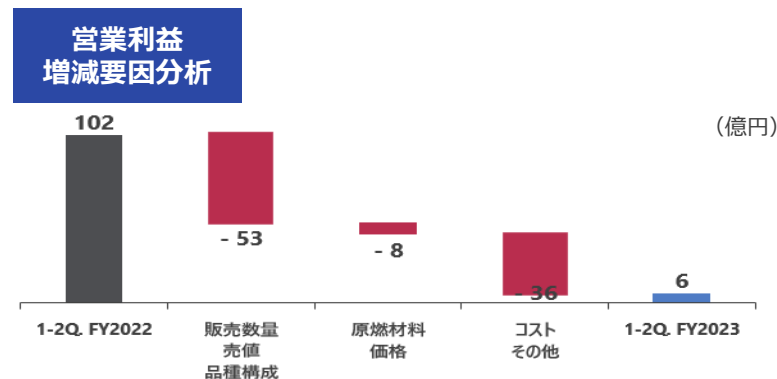
営業利益 構成比 共通費配賦前



営業利益
(億円)

1-2Q累計	FY2022	FY2023	(億円) 増減
売上高	710	680	▲ 30*
ライフサイエンス	692	667	▲ 25
(セグメント間)	18	13	▲ 5
営業利益	102	6	▲ 97

* うち、為替差影響は+42億円、連結範囲変更の影響はなし



🧬 ライフサイエンス

- コロナ特需の消失やバイオベンチャーへの資金流入減に加え、米国バイオ医薬品CDMOの新規ライン立ち上げ遅延により減収
- バイオ医薬品CDMOにおける能力増強に伴う先行費用等が発生

(ご参考) バイオ医薬品CDMOの現状と見通し

- 欧州・日本は堅調も米国が苦戦
- 24年以降は市場回復・米国バイオ医薬品CDMO新規立ち上げラインの正常化により、業績が改善する見通し

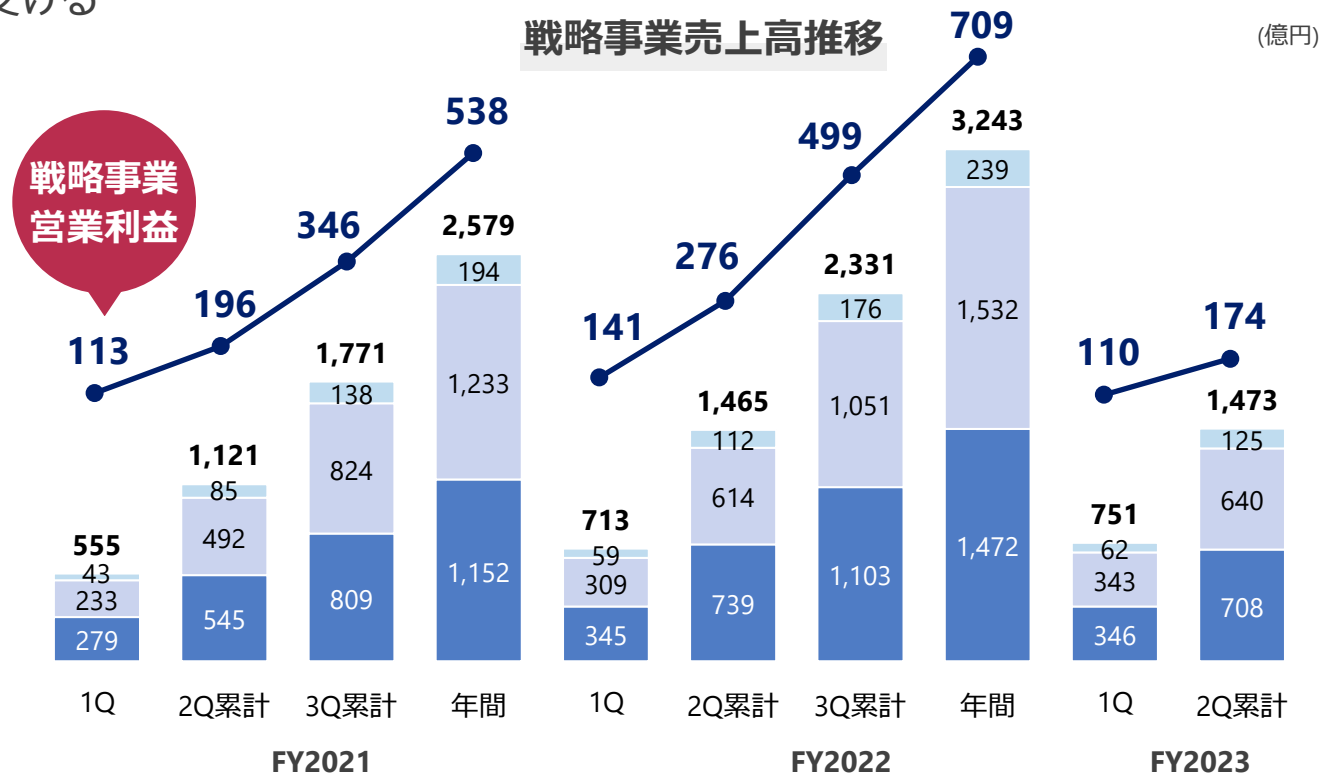
最大の課題

米国バイオ医薬品CDMO収益悪化要因と今後の見通し



戦略事業の利益貢献

- 今期は米国バイオ医薬品CDMO不調に加え、半導体やスマートフォン市場の低迷の影響を受ける



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- モビリティ新規部材 (含5G通信)

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材
- エレクトロニクス用フッ素製品

ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO
- その他のライフサイエンス製品

地域別業績 前年同期比較

1-2Q累計	FY2022	FY2023	増減	(億円)
売上高	9,783	9,853	+ 70	
日本・アジア	6,347	6,055	▲ 292	
アメリカ	971	1,098	+ 127	
ヨーロッパ	2,465	2,700	+ 235	
営業利益	1,153	643	▲ 510	
日本・アジア	1,137	631	▲ 506	
アメリカ	43	▲ 4	▲ 46	
ヨーロッパ	172	243	+ 71	
地域共通費用	▲ 199	▲ 227	▲ 28	

為替差影響
+519億円
連結範囲変更の影響
+7億円

2023年通期業績の見通し

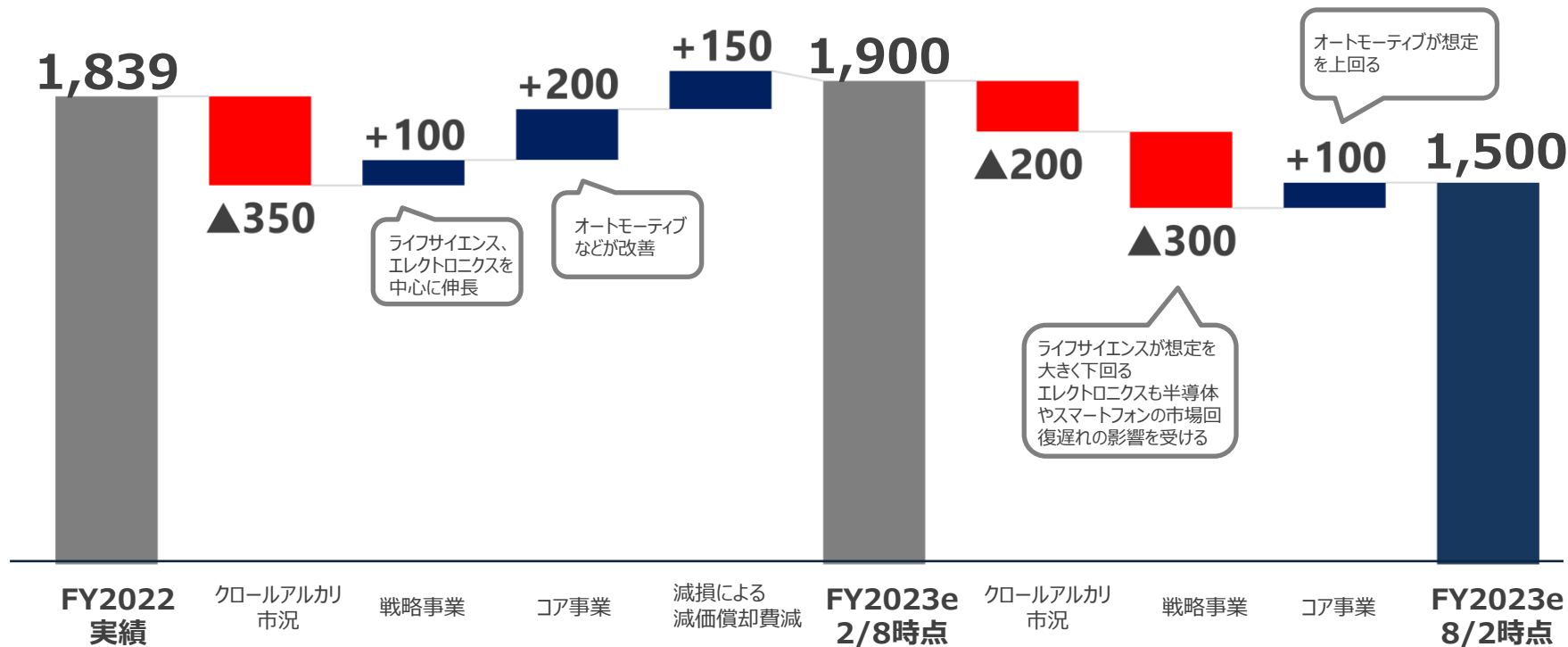
2023年 通期業績見通し

- クロールアルカリ製品の市況回復の遅れ、米国バイオ医薬品CDMOの新規ライン立ち上げ遅延の影響が大きく、前年比、期初想定比で減益となる見通し

		FY2022	FY2023 (8/2予想)	FY2023 (2/8予想)	(億円)
売上高		20,359	20,500	21,500	
	(上期)	9,783	9,853	10,300	
営業利益		1,839	1,500	1,900	
	(上期)	1,153	643	750	
税引前利益		585	1,070	1,470	
親会社の所有者に帰属する 当期純利益		▲ 32	590	870	
1株当たり配当 (円)		210	210	210	
営業利益率		9.0%	7.3%	8.8%	
ROE		-	4.2%	6.3%*	
為替レート (期中平均)	1 USD	JPY 131.4	JPY 135.0	JPY 125.0	
	1 EUR	JPY 138.0	JPY 150.0	JPY 135.0	
原油 (Dubai,期中平均)	USD/BBL	96.3	81.0	85.0	
エチレン(CFR SEA)	USD/MT	1,054	870	1,000	

2023年 営業利益見通し

営業利益予想の推移 (億円)



セグメント別 売上高/営業利益見通し

- オートモーティブは期初想定を上回るものの、電子、化学品、ライフサイエンスが期初想定を下回り、業績予想を下方修正

(億円)

	FY2022 (a)		FY2023e (b) 通期(8/2予想)		増減 (b)-(a)		FY2023e(c) 通期(2/8予想)		増減(b)-(c)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	4,837	327	4,800	360	▲ 37	+ 33	5,000	360	▲ 200	+ 0
 オートモーティブ	4,178	▲ 98	4,700	170	+ 522	+ 268	4,700	80	+ 0	+ 90
 電子	3,072	147	3,300	250	+ 228	+ 103	3,400	380	▲ 100	▲ 130
 化学品	6,604	1,261	6,000	710	▲ 604	▲ 551	6,500	850	▲ 500	▲ 140
 ライフサイエンス	1,418	169	1,350	▲ 10	▲ 68	▲ 179	1,600	210	▲ 250	▲ 220
 セラミックス・その他	866	37	850	20	▲ 16	▲ 17	800	20	+ 50	+ 0
 消去	▲ 616	▲ 3	▲ 500	0	+ 116	+ 3	▲ 500	0	+ 0	+ 0
連結合計	20,359	1,839	20,500	1,500	+ 141	▲ 339	21,500	1,900	▲ 1,000	▲ 400

2023年下期 見通し (vs 2023年上期)



建築ガラス

アジア

- アジアでは、高断熱・遮熱ガラス需要拡大などにより出荷が堅調に推移

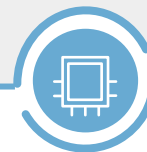
欧米

- 欧州ではインフレや景気減速などの懸念があるものの、エネルギー削減のための高断熱ガラスへの置き換え需要が出荷を支え



オートモーティブ

- 半導体等の部品供給不足の影響緩和が継続するとともに、従来より取り組んできた価格政策の効果が寄与するものの、季節性に伴う出荷減の影響を受ける見込み



電子

ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板は需要の回復により出荷が増加
- ディスプレイ用特殊ガラスは主要なお客様からの受注が拡大し、出荷が増加

電子部材

- オプトエレクトロニクス用部材はスマートフォン市場減速の影響を受けるも、需要期となり出荷が増加
- 半導体関連製品は、EUV露光用フォトマスクブランクスを中心に出荷が増加

2023年下期 見通し (vs 2023年上期)



化学品

エッセンシャルケミカルズ

- 中国・米国での景気回復の遅れを背景に市況の回復が遅れているが、景気回復とともに緩やかに市況が回復

パフォーマンスケミカルズ

- 半導体、スマートフォン市場の減速を受け一部用途向けフッ素関連製品は踊り場となるも、輸送機器向け分野などの製品需要は堅調に推移し、出荷が増加



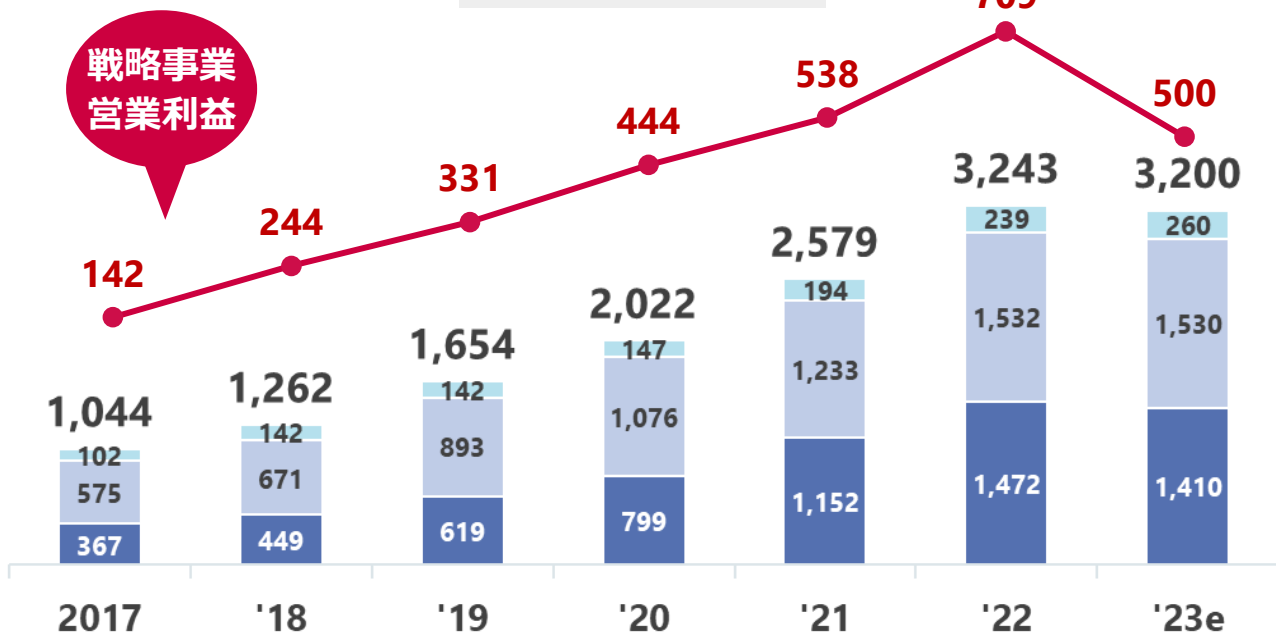
ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMOの受託売上は堅調に推移するも、引き続きバイオ医薬品CDMOにおけるコロナ特需の消失、バイオベンチャーへの資金流入減による影響は継続する
- 米国バイオ医薬品CDMOの新規ラインは下期中に正常化する見込み

戦略事業の見通し

- 2023年は売上は伸び悩み、減益の見通し
- 2024年以降はバイオ医薬品CDMOの復調、EUV露光用フォトマスクブランクスなどの半導体関連製品拡大で再び成長軌道へ

戦略事業売上高推移 (億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- モビリティ新規部材 (含5G通信)

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材
- エレクトロニクス用フッ素製品

ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO
- その他のライフサイエンス製品

設備投資額・減価償却費・研究開発費

年間	FY2022	FY2023e	(億円)
設備投資額	2,366	3,000	
建築ガラス	175	250	
オートモーティブ	298	270	
電子	800	930	
化学品	649	950	
ライフサイエンス	431	580	
セラミックス・その他	14	20	
消去	▲ 2	0	
減価償却費	1,857	1,880	
建築ガラス	239	240	
オートモーティブ	325	330	
電子	684	620	
化学品	475	520	
ライフサイエンス	115	150	
セラミックス・その他	19	20	
消去	▲ 1	0	
研究開発費	523	580	

主な設備投資案件

- ディスプレイ中国G11投資（電子）
 - 電子部材関連製造設備増強（電子）
 - 東南アジアクロールアルカリ能力増強（化学品）
 - バイオ医薬品CDMO能力増強（ライフサイエンス）
- など

企業価値向上に向けた取り組み

■ 社会的価値と経済的価値の両立により成長

独自の素材・ソリューションの提供を通じて**サステナブルな社会の実現**に貢献するとともに継続的に成長・進化する**エクセレントカンパニー**でありたい

企業価値向上

社会的価値



5つの社会的価値の創出

サステナビリティ経営の推進

経済的価値



安定的にROE10%以上

事業ポートフォリオ変革

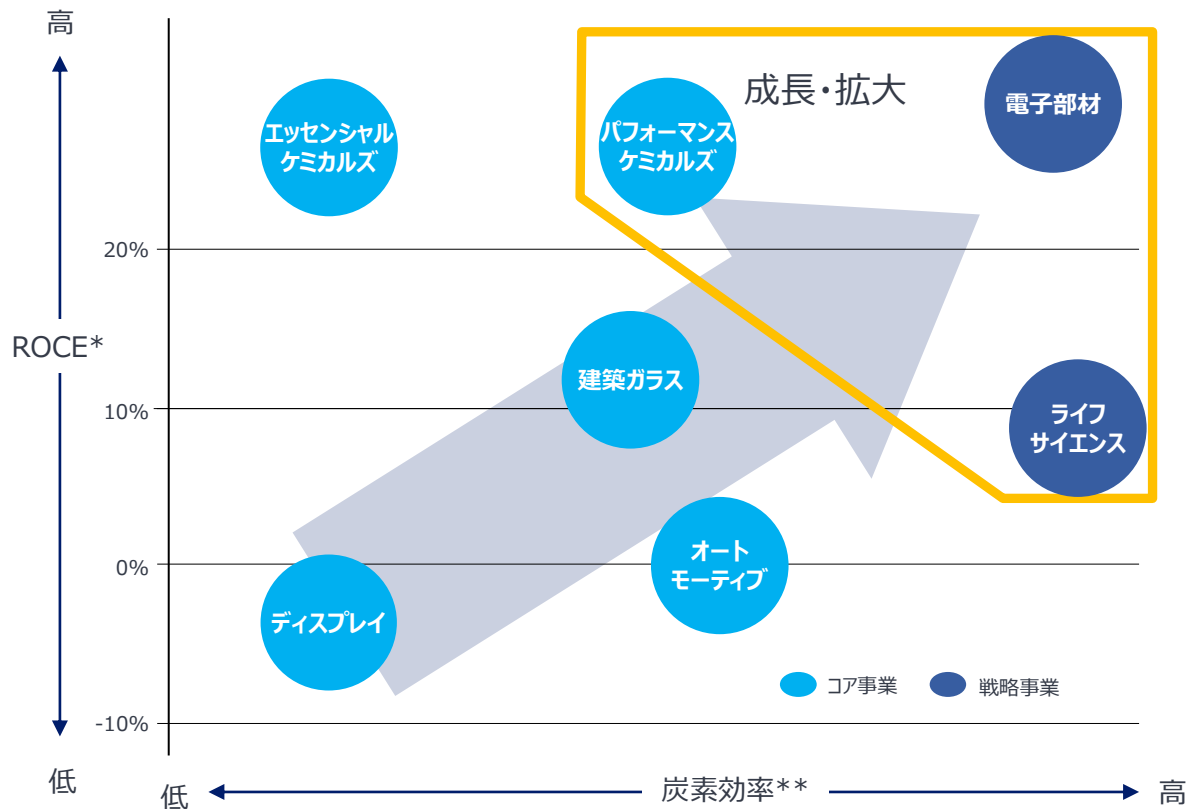


事業ポートフォリオ変革の方向性（1）

- 両利きの経営の推進により、市況変動に強く、資産効率・成長性・炭素効率の高い事業ポートフォリオの構築を目指す



事業ポートフォリオ変革の方向性 (2)



* : 2022年ROCEをもとに作成

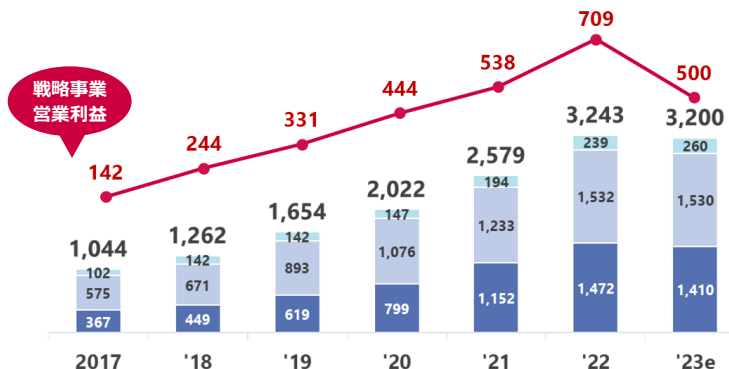
** : 2022年売上高あたりの2021年排出量をもとに作成

事業ポートフォリオ変革の進捗（1）

- 戦略事業は中期的に拡大するも、2023年は売上が伸び悩み、減益の見通し
- コア事業は市況影響あるも、価格改定・構造改革の効果から収益性が向上・安定化へ

戦略事業

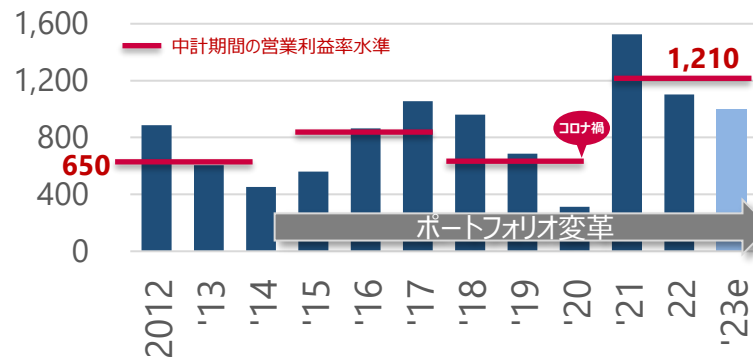
戦略事業売上高推移（億円）



23年は踊り場

コア事業

コア事業営業利益推移（億円）



収益性が向上・安定化へ

事業ポートフォリオ変革の進捗 (2) 戦略事業

- 23年は市況等の要因で調整があるものの、中長期には市場拡大とともに伸長

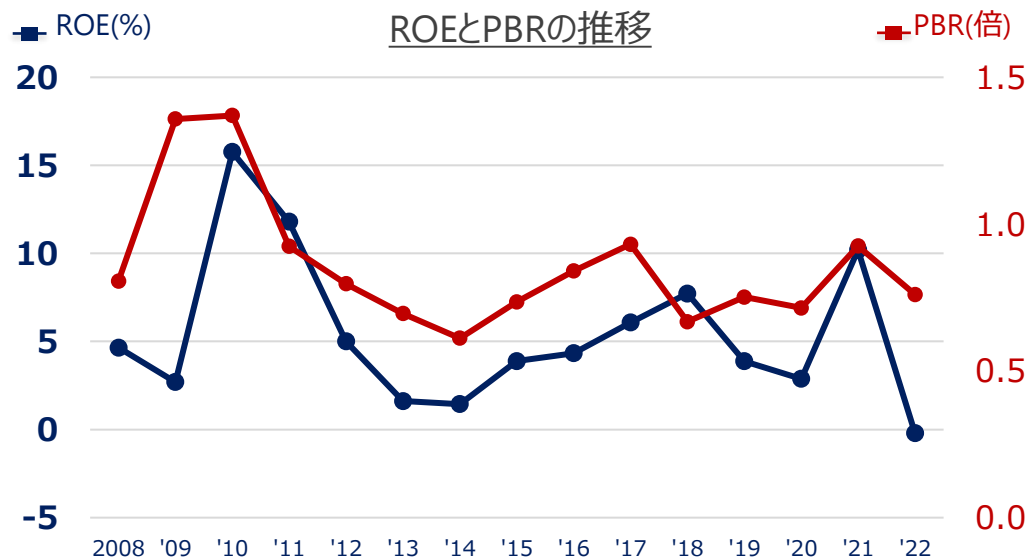
	現状		中長期の見通し	
 エレクトロニクス	EUV露光用フォトマスクブランクスは堅調なものの、半導体市場およびスマートフォン市場の低迷の影響を受け全体としては23年は踊り場		EUV露光用フォトマスクブランクスの拡大に加え、半導体市場回復から高成長	
 ライフサイエンス	コロナ特需の消失やバイオベンチャーへの資金流入減に加え、米国バイオ医薬品CDMOの新規ライン立ち上げ遅延により、受託売上が減少		24年以降は米国バイオ医薬品CDMOの新規ライン正常化、市場回復に伴い成長軌道に戻る	
 モビリティ	CASE進展の遅れから事業拡大のスピードは想定を下回る		CASE進展とともに事業拡大	

事業ポートフォリオ変革の進捗 (3)コア事業

■ 収益の安定化および資産効率の改善が進む

	現状		中長期の見通し	
 建築ガラス	価格改定や構造改革により収益が改善		リノベーション需要などの追い風が継続し、収益は安定	
 オートモーティブ	価格政策の見直しや構造改革が進み黒字化		半導体不足解消等のマクロ環境の改善や取り組んでいる収益改善施策の推進により収益率・資産効率の向上を見込む	
 ディスプレイ	構造改革、価格政策の見直しを推進中		市場回復、構造改革や価格政策見直しの効果から24年以降収益が改善	
 化学品	【エッセンシャルケミカルズ】 市況は回復せず低水準で推移しているものの、高い市場ポジションから一定水準の利益を確保 【パフォーマンスケミカルズ】 半導体およびスマホ市場の影響から23年は踊り場		【エッセンシャルケミカルズ】 市況は緩やかに回復し、収益は回復 【パフォーマンスケミカルズ】 市場回復に加え、能力増強も奏功し、収益が拡大	

■ ROEとPBRの変動が強く相関



PBR改善にはROEの向上・安定化が最優先課題

- PBRの改善は従前より、経営上の重要課題と認識
- 東証からの開示要請については、取締役会を含めた社内で検討を進める

現状の 取り組み と課題

【現状の取り組み】

- 株主資本コストを意識したROE目標（2030年までにROE 10%を安定的に実現）を公表
- 株主還元は機動的な自己株取得および安定的に連結配当性向40%の配当を実現

【課題】

- 成長事業への積極投資を通じ、事業ポートフォリオ変革を推進。成長事業は順調に拡大も、構造改革費用、減損損失計上などROE目標が達成できないことが低PBRの課題

現時点の 取り組み 方針

- コア事業を長期安定的な収益基盤とし、戦略事業の拡大により、早期にROE 8%以上かつ安定継続を目指す

AGCブランドステートメント：

易きになじまず難きにつく
人を信ずる心が人を動かす
世界に冠たる自社技術の確立を
開発成功の鍵は使命感にあり

A G Cは、この創業の精神を礎に、
お客様とゆるぎない信頼関係を築きながら、
独自の素材とソリューションで、
時代のトップランナー達を支えてきました。

私たちはこれからも、互いの知見や技術を掛け合わせ、
人々の想いの先、夢の実現に挑んでいきます。

Your Dreams, Our Challenge

付属資料

セグメント別 ROCE・EBITDA

		営業利益		EBITDA*		ROCE		営業資産		(億円)
		2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	
	ガラス	273	229	819	794	4.6%	3.6%	6,000	6,300	
	(ご参考) 建築ガラス	—	327	—	566	—	10.9%	—	3,000	
	(ご参考) オートモーティブ	—	▲ 98	—	227	—	▲3.0%	—	3,300	
	電子	368	147	971	830	5.9%	2.6%	6,250	5,650	
	化学品	1,388	1,429	1,887	2,020	21.5%	18.1%	6,450	7,900	
	(ご参考) 化学品	—	1,261	—	1,736	—	23.3%	—	5,400	
	(ご参考) ライフサイエンス	—	169	—	284	—	6.7%	—	2,500	
	セラミックス・その他	35	37	55	56	14.0%	18.4%	250	200	
	消去ほか	▲ 2	▲ 3	▲ 3	▲ 4	—	—	—	—	
合計		2,062	1,839	3,729	3,696	10.9%	9.2%	18,950	20,050	

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

営業利益に対するインパクト

為替



**1%円高で
5億円*減益**

*JPYに対して全ての通貨が
同じ割合で動いた場合の
影響額

原油



**1バレルあたり
1ドル上昇した場合
3.1億円*減益**

*ヘッジ影響除く

化学品市況



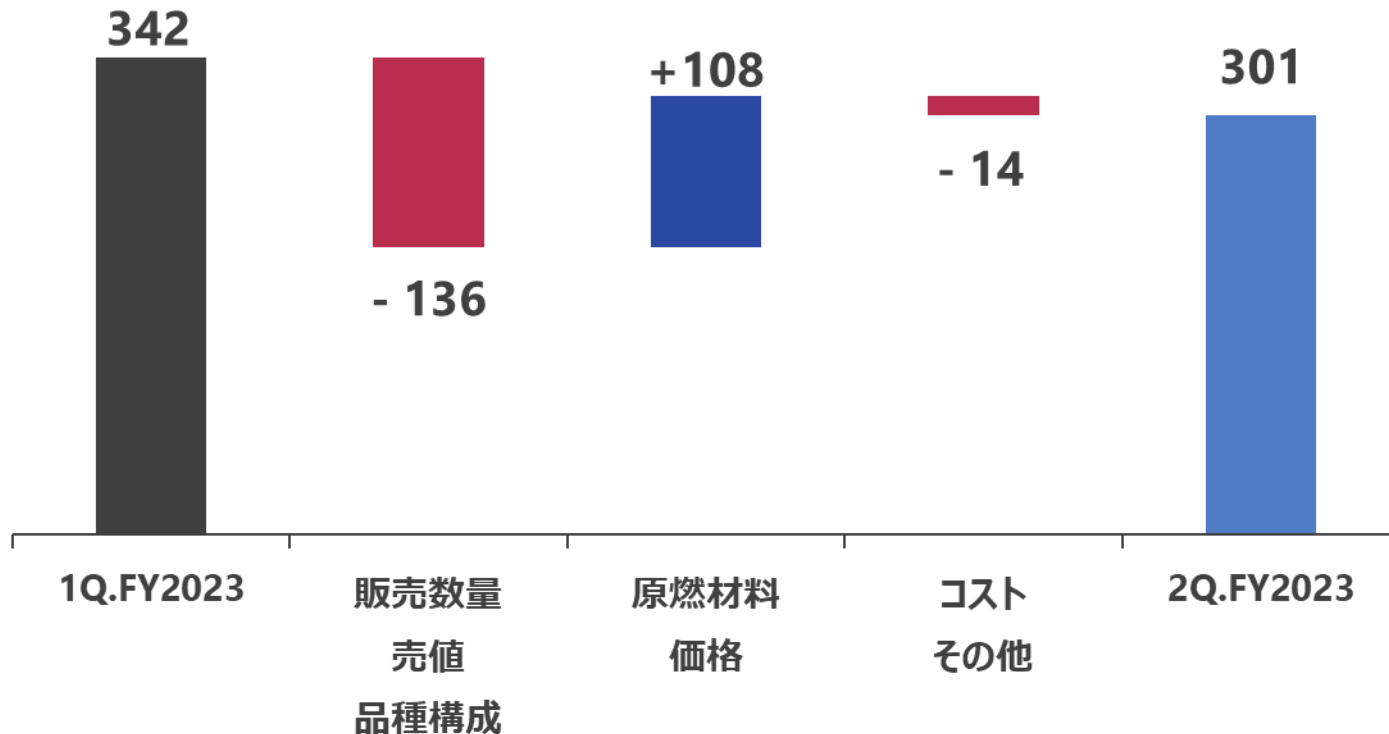
- ① 苛性ソーダ**
国際市況が\$1下がると\$1Mの減益
- ② 塩ビスプレッド**
\$1下がると\$1.2Mの減益*

*塩ビスプレッド：塩ビ市況－
(エチレン市況×0.5)

営業利益増減要因分析(2Q.FY2023 vs. 1Q.FY2023)

前四半期比 42億円減益

(億円)



売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	2Q .FY2023	386	73	728	5	1,192
	2Q .FY2022	361	80	773	2	1,216
 オートモーティブ	2Q .FY2023	604	252	365	1	1,223
	2Q .FY2022	472	201	283	0	956
 電子	2Q .FY2023	642	71	3	2	717
	2Q .FY2022	651	62	3	6	722
 化学品	2Q .FY2023	1,261	83	62	13	1,418
	2Q .FY2022	1,575	74	59	12	1,720
 ライフサイエンス	2Q .FY2023	79	90	177	2	348
	2Q .FY2022	75	98	203	2	378
 セラミックス・その他	2Q .FY2023	85	-	-	110	195
	2Q .FY2022	86	-	-	150	236
 消去	2Q .FY2023	-	-	-	▲ 132	▲ 132
	2Q .FY2022	-	-	-	▲ 171	▲ 171
合計	2Q .FY2023	3,057	568	1,336	-	4,961
	2Q .FY2022	3,221	515	1,321	-	5,057

売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	1-2Q .FY2023	759	146	1,487	6	2,398
	1-2Q .FY2022	681	143	1,429	4	2,257
 オートモーティブ	1-2Q .FY2023	1,206	475	723	2	2,407
	1-2Q .FY2022	982	383	526	1	1,892
 電子	1-2Q .FY2023	1,259	148	7	5	1,419
	1-2Q .FY2022	1,332	133	6	11	1,481
 化学品	1-2Q .FY2023	2,504	166	136	22	2,828
	1-2Q .FY2022	3,028	151	132	26	3,336
 ライフサイエンス	1-2Q .FY2023	158	162	348	13	680
	1-2Q .FY2022	158	161	372	18	710
 セラミックス・その他	1-2Q .FY2023	170	-	-	224	394
	1-2Q .FY2022	167	-	-	268	435
 消去	1-2Q .FY2023	-	-	-	▲ 273	▲ 273
	1-2Q .FY2022	-	-	-	▲ 328	▲ 328
合計	1-2Q .FY2023	6,055	1,098	2,700	-	9,853
	1-2Q .FY2022	6,347	971	2,465	-	9,783

業績推移 (1)

建築ガラス	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	(億円)
売上高	1,040	1,216	1,247	1,334	1,205	1,192	
アジア	319	361	384	405	373	386	
欧米	719	853	861	925	831	802	
(セグメント間)	2	2	2	4	1	5	
営業利益	73	132	86	36	93	93	
オートモーティブ	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	
売上高	936	956	1,112	1,174	1,184	1,223	
オートモーティブ	935	956	1,111	1,174	1,183	1,221	
(セグメント間)	1	0	0	1	1	1	
営業利益	▲ 33	▲ 58	▲ 63	56	48	54	
電子	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	
売上高	760	722	777	814	702	717	
ディスプレイ	450	420	346	338	358	425	
電子部材	304	296	425	470	341	290	
(セグメント間)	5	6	6	6	4	2	
営業利益	80	12	31	24	19	11	

業績推移 (2)

化学品	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	(億円)
売上高	1,617	1,720	1,641	1,626	1,410	1,418	
エッセンシャルケミカルズ	1,217	1,298	1,199	1,184	1,009	999	
パフォーマンスケミカルズ	385	410	427	429	391	407	
(セグメント間)	14	12	15	13	9	13	
営業利益	406	418	250	187	172	137	
ライフサイエンス	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	
売上高	332	378	356	352	332	348	
ライフサイエンス	316	376	347	342	321	346	
(セグメント間)	17	2	9	9	11	2	
営業利益	46	57	53	14	6	▲ 1	

数量・価格動向

前年同四半期比 (YoY)

				2022				2023	
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量	+1割	+1割強	+1桁半ば	-1割弱	-1割弱	-1割
			価格	+2割弱	+約2割	+2割強	+2割	+約3割	+約3割
		欧州	数量	+約1割	微減	-1割強	-約2割	-2割弱	-1割強
			価格	+4割強	+約6割	+8割弱	+約5割	+約2割	-10%台半ば
	自動車生産台数 (S&P global 7/4データより)	日本	数量	-14%	-15%	+24%	+9%	+12%	+30%
		北米	数量	-2%	+11%	+23%	+8%	+10%	+14%
		欧州・ロシア	数量	-17%	-4%	+22%	+7%	+18%	+12%
電子	ディスプレイパネル需要 *	グローバル	面積	+4%	-4%	-9%	-7%	-15%	+3%
	(Omdia社)								

*Source : Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 1Q23 Pivot

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

		IFRS				
		18/12	19/12	20/12	21/12	22/12
売上高	百万円	1,522,904	1,518,039	1,412,306	1,697,383	2,035,874
営業利益	百万円	120,555	101,624	75,780	206,168	183,942
営業利益率	%	7.9	6.7	5.4	12.1	9.0
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	89,593	44,434	32,715	123,840	△ 3,152
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	7.7	3.9	2.9	10.2	△ 0.2
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	5.4	4.4	3.1	7.9	6.7
自己資本比率	%	51	50	44	49	49
D / E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.43	0.47	0.63	0.41	0.41
営業CF / 有利子負債	倍	0.35	0.32	0.29	0.54	0.33
一株当たり当期純利益 (EPS) *3	円	399.51	200.85	147.84	559.11	△ 14.22
一株当たり配当金	円	115	120	120	210	210
EBITDA *4	百万円	259,425	231,857	208,459	383,226	253,209
為替レート (期中平均)	円/ドル	110.43	109.05	106.82	109.80	131.43
	円/ユーロ	130.42	122.07	121.81	129.89	138.04

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均) *2 営業利益/総資産 (期中平均) *3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。 *4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

その他の財務指標についてはこちらを参照ください  https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf

■ 社会的課題の解決に向け、事業活動を通じた5つの社会的価値を創出

安全・快適な都市インフラ の実現への貢献



建築用Low-Eガラス



自動車用UVカットガラス



塩化ビニル樹脂

安心・健康な暮らしの 実現への貢献



医薬品（中間体・原体）



農薬（中間体・原体）



農業温室ハウス用フィルム

健全・安心な社会の 維持への貢献



地域社会との関係



周辺環境への配慮



サプライチェーンの人権

公正・安全な働く場の 創出への貢献



職場環境の安全

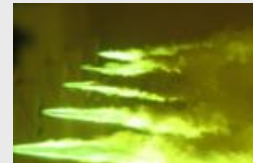


多様性



従業員エンゲージメント

持続可能な地球環境の 実現への貢献



気候変動問題への対応



資源の有効利用

AGCグループが創出したい経済的価値

- 継続的に成長・進化し、**安定的にROE 10%以上**を達成していく
- 2030年には**戦略事業の営業利益を過半**とする

		2022年(実績)	2023年(予想)	2025年	2030年	2050年
経済的価値	営業利益	1,839億円	1,500億円	2,500億円	3,000億円以上	
	戦略事業 営業利益	709億円	500億円	1,200億円	1,600億円以上	
	EBITDA*	3,696億円	3,380億円	4,800億円		
	ROE	-	4.2%	安定的に10%以上		
	D/E比率	0.41	0.5以下			

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

サステナビリティ “製品・技術”を通じて社会的価値を創出

重要機会

AGCグループの 主な素材・ソリューション

社会的価値

気候変動問題への対応

- 建築用ガラス ■ 自動車用赤外線カットガラス
- バイオマスボイラー用炉材 ■ グリーン冷媒 等

資源の有効利用

- 燃料電池用部材
- リサイクル原料使用製品（ガラス・耐火物等）

持続可能な地球環境の実現への貢献



社会インフラの整備

- 建築用ガラス ■ 苛性ソーダ
- 次亜塩素酸ソーダ ■ 重曹 ■ 塩ビ 等

安全・快適な モビリティの実現

- 自動車用ガラスアンテナ
- 車載センシング・レーダー用部材 ■ HUD部材 等

情報化・IoT社会の構築

- 建物窓取付アンテナ ■ 半導体製造用部材
- ディスプレイ用ガラス ■ 高速通信用部材 等

安全・快適な都市インフラの実現への貢献



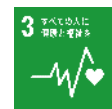
食糧問題への対処

- 農薬原体・中間体
- 農業温室ハウス用フィルム 等

健康・長寿社会への対応

- 医薬品原体・中間体 ■ 高速通信用部材
- 水処理用高機能膜 等

安心・健康な暮らしの実現への貢献



サステナビリティ “健全な企業活動”を通じて社会的価値を創出

重要リスク

AGCグループの 企業活動

社会的価値

気候変動問題への対応

- 継続的な省エネ対策実施
- GHG排出量を低減する生産技術・設備開発 等

資源の有効利用

- 再生原材料や再生資材の活用
- 埋立て処分の削減 等

社会・環境に配慮した サプライチェーン

- 人権尊重・環境保護を重視したサプライヤー管理 等

地域社会との関係・ 環境配慮

- 水使用量削減 ■ 生物多様性保全
- 環境事故撲滅 ■ 地域のファン作り 等

公正・平等な雇用と 職場の安全確保

- 従業員エンゲージメントの向上
- 重篤災害・休業災害の発生防止 等

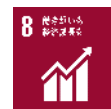
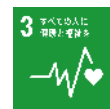
持続可能な地球環境の実現への貢献



健全・安心な社会の維持への貢献

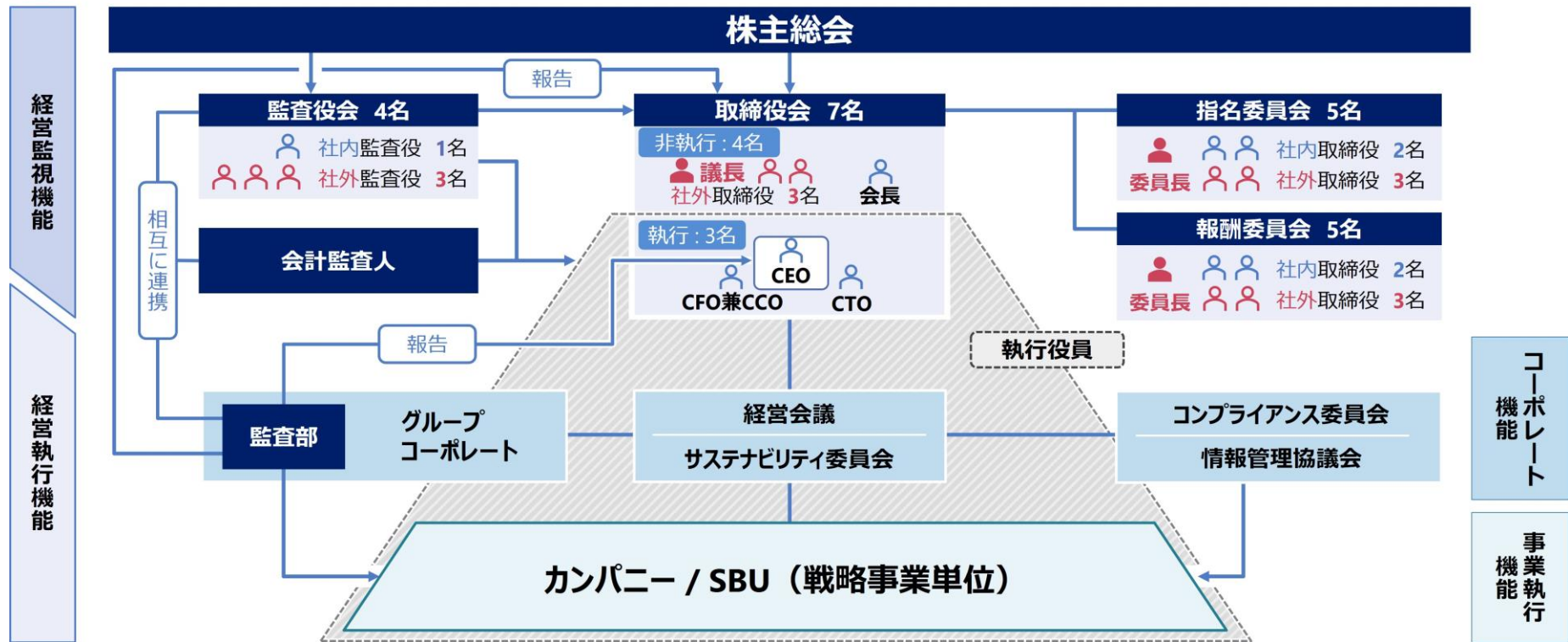


公正・安全な働く場の創出への貢献



当社のコーポレートガバナンス体制の概要図

👤 : 社内出身の取締役又は監査役 👤👤 : 独立性が確保された社外取締役又は社外監査役





FTSE4Good Index Series に選定



FTSE Blossom Japan Index に選定



CDP Climate Change A 評価
CDP サプライヤー・エンゲージメント・リーダー に選定



SBTi 温室効果ガス削減目標「WB2℃」 認定取得



「第6回日経スマートワーク経営調査」4星 の格付けを獲得



「健康経営優良法人2023ホワイト500」に選定



EcoVadisサプライヤー評価 で 最高ランク を取得
「PLATINUM」：鹿島工場、AGC Pharma Chemicals Europe社
他国内外複数拠点で高評価

Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター 2023 に選定



「DX銘柄2023」に選定

2023年 主要発表事項

 発表日	 内容
1月12日	SBTi から温室効果ガス削減目標「WB2℃」の認定を取得
1月23日	ガラス溶解プロセスにおけるデジタルツイン技術を開発しフロート窯での運用検証を開始
2月6日	A G C とサンゴバン社、板ガラス製造におけるCO 2 排出量大幅削減に向け共同開発に合意
2月8日	ロシア事業について譲渡の検討を開始
2月8日	報告セグメント変更に関するお知らせ
2月8日	自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ
2月8日	減損損失の計上ならびに2022年12月期通期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ
3月8日	4年連続で「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定
3月16日	CDPが実施する「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」企業に選定
3月23日	フッ素製品の製造能力増強を決定
4月17日	化学品プラントにおけるプロセスデジタルツインを開発、インドネシアの塩化ビニルモノマー製造プラントにて運用を開始
4月27日	EUV 露光用フォトマスクブランクス生産能力を増強
5月12日	関西工場高砂事業所における液晶用ガラス基板製品の生産終了を決定
6月1日	「DX銘柄2023」に選定
6月19日	社内向け対話型AI「ChatAGC」を構築、運用開始
6月27日	世界初、実生産炉でのアンモニアを燃料に利用したガラス製造の実証試験に成功

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



Your Dreams, Our Challenge